

日本での交換留学

梨花女子大学校

オ・ジヨン

まだ遠く感じられていたお茶の水での交換留学生としての生活が終わりに近づいてきましたが、緊張感とときめきを同時に持って日本に到着した日が思い出されます。その時まではまだ桜が咲いていましたが、今の蒸し暑い熱気の下にいると時間が本当に早いと感じられます。5ヶ月というその時間、日本で、そしてお茶の水でたくさんの経験をしながら楽しい交換生活を送ったと思います。

まず、日本語で授業を受けることについて心配が多かったですが、お茶の水の留学生対象授業がとても役に立ちました。ただ座って聞くだけでなく、直接発表を準備して他の学生と話せる機会が多かったので日本語実力を付けることができました。特に萩原先生の日本事情練習 3A 授業は日本での就職活動に必要な知識を学ぶことができたのでとても実用的に役に立つ授業でした。



授業以外には日本の色々な所に行ってみながら日本を経験しました。何より東京の長所だと思った点が近いところにたくさんの美術館と公園があるということだったから、東京の美術館と公園を一つずつ探し回りながら時間を過ごしました。日本に旅行で来た時は時間が足りなくて楽しめなかったのですが、今回は余裕があり旅行を満喫できて楽しかったです。そして、月に一度くらいは東京を離れて他の地域へ旅行に行こうとしました。鎌倉、横浜、川越のような東京近郊はもちろん、時間をかけて大阪や京都にも遊びに行きました。地域ごとに東京とは違う特色があったので、日本の様々な風景を感じる事ができて良かったです。

特に日本で留学生生活を送った時期が夏だったので、日本の夏をしっかりと感じる事ができました。最初はものすごい暑さに驚いたりもしましたが、祭りや花火大会に参加して美味しいものを食べながら浴衣を着て楽しんでいる人たちを見ると、その暑さもしばらく忘れてしまいました。韓国に帰っても日本での夏は思い出に残って忘れられないと思います。

日本での5ヶ月という時間が私の人生で長い時間ではありませんが、いつにも増して充実に過ごしながら多くの経験を積んだので本当に大切な瞬間になると思います。新しい環境に慣れるのに大変な時もありましたが、その分新しいことに挑戦して自ら成長するきっかけになったと思います。これからはここでの思い出を大切にそのまま帰ろうと思います。

最後に、留学期間中にお世話になった方々に感謝の言葉を伝えたいと思います。入国と留学関連の手続きを手伝ってくださった国際課の大野さん、交換学生を指導してくださった萩原先生、そしていつも励みになる言葉で私の留学生生活を応援してくださった指導教員である湯川先生、寮で便利かつ安全に過ごせるようにしてくださった音羽館の管理室の方、お茶の水の皆さんに感謝したいです。おかげさまで楽しい交換生活ができました。本当にありがとうございました。

